

## 第4 年間指導計画の作成と評価、改善

### 年間指導計画とは

「道徳科の指導が全体計画に基づき、児童の発達段階に即して計画的、発展的に行われるように組織された、全学年にわたる年間の指導計画」

言いかえると

### 毎週の道徳科の指導をどのように行うのかを具体的に示したもの

年間指導計画を作成することで（年間指導計画の意義）

- ① 6年間を見通した計画的、発展的な指導を可能にする。
- ② 個々の学級において道徳科の学習指導案を立案するよりどころとなる。
- ③ 学級相互、学年相互の教師間の研修などの手掛かりとなる。



明記しておく内容は（具備しなければならない要件）

- ア 各学年の基本方針
- イ 配当時間数一覧
- ウ 学年別主題配列一覧表
- エ 指導の概要（主題名、ねらい、内容項目 等）

特色ある年間指導計画

（各学校の創意工夫）

例えば・・・

- ① オリエンテーションやまとめ
- ② 多様な学習指導過程
- ③ 重点指導項目の意図的配列
- ④ 児童の評価に係る表記

→ 「1 具備しなければならない要件」参照

→ 「3 工夫、配慮事項等」参照



指導を一層効果的に行うために（年間指導計画の評価と改善）

- ① 道徳科における児童の道徳性に係る成長の様子をポイントにする。（長期的）
- ② 記入された「授業後の改善点」をもとに評価を行う。
- ③ 教育活動全体を通じた児童の成長の様子も参考にする。（他の教育活動との関連）
- ④ 評価に基づいて、学校全体で改善を図っていく。

→ 「4 年間指導計画に基づく指導における評価」及び「5 評価に基づく改善のポイント」参照

大切なのは、年間指導計画を日常的に活用し、授業後の評価を記録しておくことである。

## 1 具備しなければならない要件

- ① 各学年の基本方針  
全体計画に基づき、各学年の道徳科における指導の基本方針を具体的に示す。
- ② 配当時間数一覧  
道徳教育の重点目標、各学年の重点目標などを踏まえて、各学年で繰り返し指導する内容項目を選定し、年間の道徳科において各内容項目を何時間扱うのかを一覧表で示す。これにより、指導の重点が明確になり、6年間を見通した計画的、発展的な指導が行いやすくなる。
- ③ 学年別主題配列一覧表  
主題名をつけ、指導時期を考慮して主題を配列し、指導時期、主題名、内容項目、教材名等を一覧表で示す。これは、年間指導計画のいわば目次であり、年間を見通す際に活用できるとともに、重点的な指導や複数時間の関連を図った指導を行うためにも必要である。
- ④ 指導の概要  
各学年の年間にわたる指導の概要を示す。具体的には、指導の時期、主題名、ねらい、教材、主題構成の理由、学習指導過程、他の教育活動等における道徳教育との関連などを示し、計画に基づいて道徳科の授業が実施できるようにする。

## 2 具体例（第4学年の例）

- ① 基本方針
  - ・教材を通して、登場人物の行為や行動の奥にある感じ方や考え方、道徳的価値等を自分との関わりで考える。
  - ・学級内で意見を出し合い、考えを磨き合い、自己の生き方について考えを深める。
- ② 配当時間数一覧  
(Aの視点において、学校の道徳教育の重点内容項目が〔A正直、誠実〕であり、第4学年の重点内容項目が〔A個性の伸長〕の場合)

視点	内容項目	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
A 主として自身に関すること	善悪の判断、自律、自由と責任	2	2	2	2	1	2	11
	正直、誠実	3	3	2	2	2	2	14
	節度、節制	2	3	2	1	1	1	10
	個性の伸長	1	2	2	3	1	1	10
	希望と勇気、努力と強い意志	2	1	1	2	1	2	9
	真理の探究					1	2	3
と	よりよく生きる喜び					2	1	3
合計		34	35	35	35	35	35	209

※太線で囲んでいる所：重点的に指導する内容項目

### ③ 学年別主題配列一覧表

学期	月	週	主題名	内容項目	教材名<出典>	諸様相	備考
1 学期	4 月	1	相手のことを考えた言葉を	B礼儀	かなちゃんへの手紙 <彩の国のどうとく>	判断力	変更点やその理由、授業後に気付いたことや改善点等を書き加え、次年度の年間指導計画見直しの際に参考資料として活用する。
		2	明るく、正直な心	A正直、誠実	新発売のカード <彩の国のどうとく>	実践意欲 ・態度	
		3	相手の立場や心を理解する難しさ	B親切、思いやり	スーパーの店先で <彩の国の道徳 心の絆>	心情	
	5 月	1	相手の立場や心を理解する難しさ	B親切、思いやり	心と心のあく手 <わたしたちの道徳>	判断力	
		2	自分のよい所を伸ばそう	A個性の伸長	うれしく思えた日から <わたしたちの道徳>	心情	
3 学期	3 月	1	一つのかげがえのない命	D生命の尊さ	ヒキガエルとロバ <わたしたちの道徳>	実践意欲 ・態度	
		2	ふるさとの伝統を大切に	C伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度	キラキラひかるあめ玉 <彩の国のどうとく>	実践意欲 ・態度	

④ 指導の概要

4月1週	主題名	相手のことを考えた言葉を	内容項目	B 礼儀
	ねらい	つい悪口を言ってしまったり、嫌なことをしてしまったりしたときの対処の仕方 を考える学習を通して、礼儀とはいつでも真心をもって接することが大切である ことを理解し、自分も相手も気持ちよく過ごしていくための判断力を高める。		
	教材名	かなちゃんへの手紙	出典	彩の国のどうとく
	主題構成 の理由	よりよい人間関係を築くためには、人との関わりにおいて、どのような振る舞い が好ましいか考える。		
	学習指導過程	1 言われてうれしい言葉を知る。 2 教材「かなちゃんへの手紙」を読み、話し合う。 (1) 悪口の手紙を書き、机の前で立っているわたしの気持ち。 (2) かなちゃんから電話があったことを知ったわたしの心の内。 (3) わたしは、なぜ泣きながら手紙をちぎったのか。 (4) わたしは、かなちゃんにどんな手紙で自分の思いを伝えればよいのだろう。 3 礼儀や正しい言葉遣いについてこれからの自分の生き方について考える。 4 教師の説話を聞く。		
	他の教育活動との関連	あいさつ運動、学習規律の指導(常時)、学級活動(2)		
	備考	私たちの道徳「だれに対しても真心をもって」		
	授業後の改善点	学校の年間生徒指導目標が「礼儀正しくあいさつをしよう」であることから、終末に 校長の話を取り入れるとよい。		
4月2週	主題名	明るく、正直な心	内容項目	A 正直、誠実
	ねらい	人間的な弱さから生じる道徳的問題の解決策や、正直という道徳的価値の意義を 考える学習を通して、正直とは、過ちは素直に改めることであると理解し、正直 に明るい心で元気よく生活していこうとする態度を養う。		
	教材名	新発売のカード	出典	彩の国のどうとく
	主題構成 の理由	過ちを素直に改める正直な心で、楽しく生活していこうとするにはどうしたらよ いのか考える。		
	学習指導過程	1 学習課題「正直」とは、何か考える。 2 教材「新発売のカード」を読み、話し合う。 (1) けんたは、正直な人か。 (2) なぜ、けんたは、母親に話したのか。 (3) 話す前と後でけんたは何が変わったか。 3 学習課題について考えをもつ。 「正直な人」とはどんな人か、考えたことを書く。 4 学習課題から学んだ、これからの自分の生き方について記入する。		
	他の教育活動との関連	係・当番活動		
	備考	私たちの道徳「正直に明るい心で」 導入における学習課題に対し、自分なりの結論を出す		
	授業後の改善点	記述を2つ設けたことで、時間配分に課題が出た。		

4 年間指導計画に基づく指導における評価及び5 評価に基づく改善のポイント①②③で示したものを踏まえ、道徳性に係る成長の様子の長期的に把握し計画を見直す。

3 工夫、配慮事項等

- ① 道徳教育の重点目標や各学年の重点目標等を踏まえ、重点的指導を行えるよう、配当時数を考える。
- ② 児童の実態や他の教育活動との関連、季節的变化などを考慮し、指導の時期を適切に配列する。
- ③ 計画的・発展的な配列がされているか、進学中学校との関連が考慮されているか等、6年間のバランスをみていく。
- ④ 教科書、私たちの道徳、小学校道徳読み物資料(文部科学省)、埼玉県道徳指導資料集(「彩の国の道徳」等)、自作教材など、適切な教材選択を行う。

⑤ 指導の概要の各欄には、以下のような内容を示す。

- 主題名** ねらいと教材を合わせて、本時の学習内容を端的に示す。  
**内容項目** 本時に主として学習させる内容項目の、視点の区分（ABCD）とキーワードを示す。  
**主題構成の理由** ねらいを達成するために活用する教材の内容を踏まえて、指導のポイントを簡潔に示す。  
**学習指導過程** 授業の進め方（読み物教材の登場人物への自我関与が中心の学習、問題解決的な学習、道徳的行為に関する体験的な学習等）や具体的な発問、様々な人材（管理職や保護者、地域の人々など）の参加・協力等の工夫を、各学校の実態に応じて適切に行う。  
**他の教育活動との関連** 他教科等においてどのような指導が行われているか、日常の学級経営においてどのような配慮がなされているかを示す。  
**授業後の改善点** 次年度に向けての課題や具体的な改善のポイントについて、授業を行った後に記入し、年間指導計画を見直す際に参考にする。

⑥ 時期、時数、ねらい、教材、学習指導過程、指導方法の変更については、計画の弾力的な取扱いについて配慮する。

⑦ さらに、各校の全体計画を基に以下のような特色ある年間指導計画を積極的に取り入れるとよい。  
 ア オリエンテーションやまとめを位置付けた年間指導計画

4月1週	主題名	自分を見つめよう	内容項目	(全内容項目)
	ねらい	自分の良いところや課題を考え、これからの自己の生き方を見つめる学習を通して、今よりも自己を高めていこうとする意欲を高める。		
	教材名	自分の良い所を探そう(ワークシート) 自分の良いところ(アンケート)	出典	自作【PC保存先:共有-道徳…】
	主題構成の理由	1年間の道徳科の授業に希望をもつとともに、今の自分を見つめ振り返り、1年後の自分の目標をもつ。		
	学習指導過程	1 わたしたちの道徳7ページを記入し、自己を見つめるウォーミングアップをする。 2 記入したことを発表し合う中で、道徳科の授業のルールを知る。 3 「よいとこみつけ」をする中で、自分のよさや課題を発見する。 (1) 友だちの良いところをグループで発表しましょう。 (2) アンケートに答えましょう。 (3) 自分の良いところや課題は何ですか。 4 これからの道徳科の授業で伸ばしたいところをワークシートに記入する。 5 道徳科の授業における教師の思いや願いを感じる。		
	他の教育活動との関連	規律ある態度『「～です(か)」、「～ます(か)」を言うことができる。』の徹底		
	備考	「よいとこみつけ」では、3年生の時の同学級を同グループとする。		
	授業後の改善点			
3月2週	主題名	成長したところをさがそう	内容項目	(全内容項目)
	ねらい	一年間の道徳科の授業の中で成長したことを振り返る学習を通して、自分の良いところや課題を考え、これからの自己の生き方を見つめることで、次年度へ希望を抱かせ、さらに自己を高めていこうとする意欲を高める。		
	教材名	1年間をふり返ろう(ワークシート)	出典	自作【PC保存先:共有-道徳…】
	主題構成の理由	一年間の道徳科の振り返りを行うことで、自己の学習状況や道徳性に係る成長の様子に気付く。		
	学習指導過程	1 一年間の道徳科の授業の中で、友達の見解で勉強になったことを2つ、ワークシートに記入する。 2 全体で発表し合い、共有する。 3 4月1週の授業と同じアンケートを行う。一年間の道徳科の授業の中で、自分が成長したと思うことをワークシートに記入する。 4 グループで発表し合い、グループの代表者(発表者)を一人選ぶ。 5 グループの代表者が、成長したことを全体で発表し、共有する。 6 写真を交えた簡単なプレゼンを見ながら、教師の話聞く。		
	他の教育活動との関連	学級経営		
	備考	児童の振り返りを、次年度の年間指導計画見直しの際の評価資料とする。		
	授業後の改善点			



イ 多様な学習指導過程に着目した年間指導計画

4月1週	主題名	相手のことを考えた言葉を	内容項目	B 礼儀
	ねらい	つい悪口を言ってしまったり、嫌なことをしてしまったりしたときの対処の仕方を考える学習を通して、礼儀とはいつでも真心をもって接することが大切であることを理解し、自分も相手も気持ちよく過ごしていくための判断力を高める。		
	教材名	かなちゃんへの手紙	出典	彩の国のどうとく
	主題構成の理由	よりよい人間関係を築くためには、人との関わりにおいて、どのような振る舞いが好ましいか考える。		
	学習指導過程	<p>&lt;ア 自我関与が中心&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 言われてうれしい言葉を知る。</li> <li>2 教材「かなちゃんへの手紙」を読み、話し合う。 (1)机の前で立っているわたしの気持ち。 (2)かなちゃんから電話があったことを知ったわたしの心の中。 (3)わたしはなぜ泣きながら手紙をちぎったのか。 (4)どんな手紙で思いを伝えればよいのだろう。</li> <li>3 礼儀や正しい言葉遣いについて考える。</li> <li>4 校長の話聞く。</li> </ol>	<p>&lt;イ 体験的な学習&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 言葉のもつ力について考える。</li> <li>2 教材「かなちゃんへの手紙」を読み、話し合う。 (1)この話の問題は何か。 (2)実際の問題場面を再現し、登場人物の取り得る行動について多角的に考える。 (3)新たな問題場面を提示し、グループで話し合う。 (4)役割演技を通して実感を伴って考え、問題を解決する方法を考える。</li> <li>3 これからの自分の生き方について考える。</li> </ol>	
	他の教育活動との関連	あいさつ運動、学習規律の指導（常時）、学級活動（2）		
	備考	私たちの道徳「だれに対しても真心をもって」		
	授業後の改善点	体験的な学習を取り入れることで、誠意ある行動が不可欠であると考えられる授業となった。	実践した学習指導過程 イ 体験的な学習	

ウ 重点指導項目について意図的に配列した年間指導計画

4月3週	主題名	相手の立場や心を理解する難しさ	内容項目	B 親切、思いやり
	ねらい	それぞれの立場を考え、自分にできることを実行しようとする思いを考える学習を通して、相手の立場に立つ難しさを理解した上で、進んで親切にしようとする心情を育てる。		
	教材名	スーパーの店先で	出典	彩の国の道徳 心の絆
	主題構成の理由	困っている人を思いやる気持ちは誰にでもあるが、相手の気持ちや立場を考える難しさも理解した上で、進んで親切にしたいという思いにつなげる。		
	学習指導過程	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 どうして人に親切にしようと思うのか、これまでの学習を踏まえて考える。</li> <li>2 教材「スーパーの店先で」を読み、話し合う。 (1)男の人と、お店の人の思いをそれぞれ考えてみましょう。 (2)二人のやり取りを見て、ぼくはどんなことを考えていたのでしょうか。 (3)どうしてぼくは駐車場に行ってみて、水を男の人に差し出したのでしょうか。</li> <li>3 親切にしたいという思いについて、自分との関わりの中で改めて考える。</li> </ol>		
他の教育活動との関連	総合的な学習の時間「ふれあいの輪を広げよう」（福祉）、縦割り班での活動			
備考	わたしたちの道徳「思いやりの心とは、どのような心でしょう」			
授業後の改善点				
5月1週	主題名	相手の立場や心を理解する難しさ	内容項目	B 親切、思いやり
	ねらい	声をかけて断られたにもかかわらず、その後も見守るという判断について考える学習を通して、思いやりとは相手の状況を考えることだと理解し、相手の立場に立って行動するための判断力を高める。		
	教材名	心と心のあく手	出典	わたしたちの道徳
	主題構成の理由	相手の立場に立って親切にするには、相手の状況や心情を理解するなどして、今何をするのがよいのか判断する必要があることを認識する。		
学習	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 前時の学習をふり返り、親切とはどのような行動かを考える。</li> <li>2 教材「心と心のあく手」を読み、話し合う。 (1)数日後におばあさんと会った時、自分だったらどうしますか。また、なぜそうしますか。</li> </ol>			

エ 児童の評価について欄を設けた年間指導計画

5月1週	主題名	相手の立場や心を理解する難しさ	内容項目	B親切、思いやり	
	ねらい	声をかけて断られたにもかかわらず、その後も見守るという判断について考える学習を通して、思いやりとは相手の状況を考えることだと理解し、相手の立場に立って行動するための判断力を高める。			
	教材名	心と心のあく手	出典	わたしたちの道徳	
	主題構成の理由	相手の立場に立って親切にするには、相手の状況や心情を理解するなどして、今何をするのがよいのか判断する必要があることを認識する。			
	学習指導過程	学 習 活 動		評 価 の 視 点	
		1 前時の学習をふり返り、親切とはどのような行動かを考える。 2 教材「心と心のあく手」を読み、話し合う。 (1) 数日後におばあさんと会った時、自分だったらどうしますか。また、なぜそうしますか。 (2) ぼくはどうしておばあさんの後をついていったのでしょうか。 3 「相手の立場に立って親切にする」とはどのように行動することかを考える。 4 相手の立場や心を理解して親切にするということについて、自分との関わりの中で改めて考える。		・これまでの学習をふり返り、自己を見つめ、思いやりについて自分なりに考えている。【発言】  ・ついていくぼくの気持ちを考える学習を通して、思いやりの大切さについて理解を深めている。【発言】 ・本時の学びを自分の言葉で整理し、相手の立場に立って行動するためには、どのようにすればよいかを自分なりに考えている。【道徳ノート、発言】	
	他の教育活動との関連	帰りの会でのふり返り			
備考	わたしたちの道徳「人との関わりの基本にあるのは思いやり」				
授業後の改善点					

⑧ ねらいの示し方は、授業を改善し一層充実させるためには大変重要である。

ねらいは、この時間に何を中心に考えさせ、どんな道徳的諸価値に迫り、どんな力を高めていくのが明確になるよう記述する。このとき学習活動と重点的に身に付けさせたい道徳的諸様相との整合性が取れるようにする。具体的には、次のような示し方となる。

※<A>を通して、<B>しようとする<C>を育てる（高める、養う）。

<A>・・・教材のどこをどう活用し、何を中心に学習させるのか。

<B>・・・内容項目から具体的にどのような道徳的価値を取り上げるのか。

<C>・・・道徳性の諸様相からどのような資質・能力を育むのか。

(例) 中学年「新発売のカード」〔A正直、誠実〕のねらいの示し方

・「道徳的判断力」の育成に重点を置いた授業のとき

人は時として過ちを犯すことがあるが、その時どのように対処すればよいかを話し合う活動を通して、過ちを素直に改め、正直に明るい心で生活していくための判断力を育てる（高める）。

・「道徳的心情」の育成に重点を置いた授業のとき

人は時として過ちを犯すことがあるが、その心の内やその後の行動を考える学習を通して、正直に伝えたときの気持ちのよさに気づき、過ちを素直に改め、正直に明るい心で生活しようとする心情を育てる。

・「道徳的実践意欲と態度」の育成に重点を置いた授業のとき

人間的な弱さから生じる道徳的問題の解決策や、正直という道徳的価値の意義を考える学習を通して、正直とは、過ちは素直に改めることであると理解し、正直に明るい心で元気よく生活していこうとする態度を育てる（養う）。

#### 4 年間指導計画に基づく指導における評価

年間指導計画における評価は、長期的な視点（学期ごと、前・後期に分けて、年間を通して等）に立ち、道徳科及び教育活動全体における児童の成長の様子を通して総合的に評価をしていく必要がある。具体的には、児童の道徳性に係る成長の様子や主として身に付けさせたい道徳的諸様相、指導時期の適切さや重点指導項目との関連、児童の成長につながる「学習指導過程」であったか等にポイントをおき、記入された授業後の改善点も参考にしながら評価する。

道徳性に係る成長の様子を把握する視点の例としては、以下のようなものが考えられる。

##### ① 低学年の例

・行ってよいことと悪いことについての理解ができるようになったか。

・ 集団の一員としての意識をもってかかわりを深めたか。

② 中学年の例

・ 自分の行為の善悪について、反省しながら把握できるようになったか。  
 ・ 自分を内省する力を身に付け、自分の特徴を自覚し、よい所を伸ばす意識が高まったか。

③ 高学年の例

・ 多様な経験を通して協働的な態度が育ったか。  
 ・ 属している集団や社会における自分の役割や責任などについての自覚が深まったか。

5 評価に基づく改善のポイント

評価によって明らかになった課題について、より大きな効果を期待できるという判断を前提として、学年による検討等を経て、道徳教育推進教師を中心に学校全体で改善を図っていく。評価に基づく改善例としては、以下のようなものが考えられる。

① 道徳性に係る成長の様子から

・ 道徳的心情は育ってきたが、判断力に課題があったので、判断力を高めるねらいを多く取り入れる。  
 ・ 重点指導項目における成長が十分でなかったので、2単位時間で指導する配列とし充実を図る。

② 授業後の改善点から

・ 主人公の考えを面的にしか考えられない授業展開となったので、多面的に考えられるよう、発問の仕方を変える。  
 ・ 教材の内容が児童の実態に合わなかったので、同じ内容項目を扱う別の教材に変更する。

③ 他との関わりから

・ 他の教科等で扱う体験活動を生かし、指導する内容項目をより深く考えられるようにするため、指導時期を変更する。  
 ・ 家庭や地域社会との連携を図り、指導する内容項目をより多角的に考えられるようにするため、ゲストティーチャーの活用など、学習指導過程を工夫する。  
 ・ より下学年での指導を意識した発展的な指導となるよう、学年間の系統性を考慮し、教材を変更した上で、発問のしかたを工夫する。  
 ・ 中学校段階との接続も考え、国家・社会の一員としての自覚を育てる指導を充実させる等、配当時間数や配列を見直す。

6 改善した年間指導計画の例

4 月 2 週	主題名	明るく、正直な心	内容項目	A正直、誠実
	ねらい	人間的な弱さから生じる道徳的問題の解決策や、正直という道徳的価値の意義を考える学習を通して、正直とは、過ちは素直に改めることであると理解し、正直に明るい心で元気よく生活していこうとする態度を養う。		
	教材名	新発売のカード	出典	彩の国のどうとく
	主題構成の理由	過ちを素直に改める正直な心で、楽しく生活するにはどうしたらよいのか考える。		
	学習指導過程	1 学習課題「正直」とは、何か考える。 2 教材「新発売のカード」を読み聞かせ、話し合う。 (1) けんたは、正直な人か。 (2) なぜ、けんたは、母親に話したのか。 (3) 話す前と後でけんたは何が変わったか。 3 学習課題について考えをもつ。 「正直な人」とはどんな人か、グループで話し合う。 4 学習課題から学んだ、これからの自分の生き方について記入する。		
	他の教育活動との関連	係・当番活動 朝の会・帰りの会		
	備考	私たちの道徳「正直に明るい心で」導入における学習課題に対し、自分なりの結論を出す		
授業後の改善点				

5 評価に基づく改善のポイント②  
(本例は250ページ)

7 考察

道徳教育の要である道徳科を中・長期的視点から計画的、発展的に指導を行うには、年間指導計画の工夫は不可欠である。また、一年間を通した道徳科の指導が有効だったかを適切に評価し、改善を図ることで、より効果的に児童の資質・能力を育むことができる。そのためにも年間指導計画を日常的に活用し、授業後の評価を記録しておく必要がある。